

学校だより



平成 30 年 1 月 31 日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

トリプルアクセル

学校長 石川 秀子

4年ぶりの大雪となった1月22日(月)。昼前から降り出した雪は見る間に校庭を白く覆い、交通網の乱れや転倒などが心配されました。でも子ども達は雪が降ったときにしかできない体験に内心わくわくしている様子でした。火曜日には靴底から伝わる積雪の感触を確かめながら走ったり、雪を型に入れて形づくりを楽しんだりする子ども達が校庭に広がりました。見たり聞いたり触ったりなどの体験や、食物が私たちを育てています。その後の一週間も、まるで冷蔵庫の中にいるかのような厳しい寒気に包まれインフルエンザの流行も心配なこの季節ですが、寒さも病気もはねのけて過ごしたいと思う2月です。

さて1月24日は給食記念日でした。二谷小学校でも給食委員の子ども達が中心になり、学校給食の歴史や食に関するクイズを全校に伝える給食集会が開かれました。

食は人をつなぎます。人が集い笑顔で会話を楽しみながら食事をすることは空腹を満たすだけでなく心も満たされます。平成25年12月には和食がユネスコ無形文化遺産に登録されています。この機会に食事の準備や後片付けなどの手伝いにも積極的に子どもたちに経験させることなどを通し、ご家庭でも食について話題にさせていただけると幸いです。

また、2月9日(金)～25日(日)までの17日間と3月9日(金)～18日(日)までの10日間、ピョンチャンで冬季オリンピック・パラリンピックが行われます。日本をはじめ各国、各地域の選手の皆さんの活躍が期待されます。冬季オリンピックといえば、私は前回ソチで行われた女子フィギアスケートの浅田真央選手が忘れられません。

メダルの期待がかかる中、ショートプログラムを終わって浅田選手はまさかの16位。フリーの演技に「どうか転倒せず滑りきってほしい」と願わずにはいられませんでした。思いがけない順位に気持ちを立て直すのも困難であったであろう中、浅田選手は見事滑り切り、6種類のジャンプを駆使し計8回もの3回転のジャンプを成功させ、フリー演技の自己最高得点を獲得しました。自分の力を出し切ることの恐ろしいまでの緊張感と孤独が伝わった瞬間でもあったと思います。

今、二谷小学校の昇降口には谷川俊太郎さんの詩「生きる」を元に、6年生が作成した「生きる」(二谷小バージョン)が掲示されています。その後半にはこのような言葉があります。

『選んだ道を精一杯がんばり 進み続けるということ
そして 笑顔で二谷小学校を卒業するということ』

2年生は、覚えたかけ算九九を校長室に来て一人ひとり聞かせてくれています。自信にあふれている子どももいれば、緊張気味の子どももいます。どの子どもからも精一杯の頑張りが伝わります。

2月に入れば、卒業まで授業日数はあと31日になります。子ども達の思いがたくさん詰まった「精一杯」な活動を、教職員一同で認め励ましていきます。地域・保護者の皆様も健康に留意されお過ごしください。今月もよろしく願いいたします。